

第5章 地域生涯学習社会の構築に向けて

住民を対象とした「生涯学習に関するアンケート調査」の結果によると、生涯学習をすでに実践している人も多いのですが、学習意欲や学習能力はあっても時間的余裕がない、あるいは身近な学習施設や情報等が不足していることにより、活動できずにいる人、さらには生涯学習そのものに意欲や価値を持たない人もいることが明らかになりました。生涯学習社会の構築が叫ばれていますが、特定の人々のみが生涯学習活動を行っているような状況は生涯学習社会とは呼べません。

豊かな地域のため、健全な民主主義社会の発展のため、本町はできるだけ多くの人が生涯学習活動を享受するということを生涯学習推進の基本的姿勢として、今後取り組んでいきます。

そのためには、具体的にはこの推進計画で述べましたように、潜在的な学習者を積極的に支援していく、地域住民の結びつきを強め、住民参画の気運を盛り上げていく、公的な生涯学習施設のみならず、地域社会におけるあらゆる学習資源（施設・情報・事業・人材等）をネットワーク化していく、身近な場所で学習できる環境づくりに取り組んでいく等の事柄が重要になってきます。

そのような取り組みを強めつつ、町全体がまさに学びの場となるよう、一步一步その歩みを進めていくことにしています。そのためには住民の協力が欠かせません。本町は住民と行政が協働しつつ、地域生涯学習社会の構築を目指していきます。